

鹿児島県 施設の長寿命化のための活動の対象施設・対象活動に関する指針

1. 対象施設、対象活動の項目

対象施設		対象活動	
		補修	更新等
集落が 管理す る施設	水路 (開水路) (ハ"イ"ライン)	(水路本体) <input type="checkbox"/> 水路の破損部分の補修 <input type="checkbox"/> 水路の老朽化部分の補修 <input type="checkbox"/> 水路側壁の嵩上げ <input type="checkbox"/> U字フリューム等既設水路の再布設	(水路本体) <input type="checkbox"/> 素掘り水路からコンクリート水路への更新 <input type="checkbox"/> 水路の更新（一路線全体）
		(付帯施設) <input type="checkbox"/> 集水枠、分水枠の補修 <input type="checkbox"/> ゲート、ポンプ等の補修 <input type="checkbox"/> 安全施設の補修 <u><input type="checkbox"/>取水施設の補修</u> <u><input type="checkbox"/>沈砂池等の補修</u> <u><input type="checkbox"/>水路法面の補修</u>	(付帯施設) <input type="checkbox"/> ゲート、ポンプの更新 <input type="checkbox"/> 安全施設の設置 <u><input type="checkbox"/>水路蓋の設置</u>
	農道	(農道本体) <input type="checkbox"/> 農道路肩、農道法面の補修 <input type="checkbox"/> 舗装の打ち替え（一部）	(農道本体) <input type="checkbox"/> 未舗装農道を舗装（砂利、コンクリート、アスファルト）
		(付帯施設) <input type="checkbox"/> 農道側溝の補修	(付帯施設) <input type="checkbox"/> 側溝蓋の設置 <input type="checkbox"/> 土側溝をコンクリート側溝に更新 <u><input type="checkbox"/>道路側溝等の設置</u>
	ため池	(ため池本体) <input type="checkbox"/> 洗掘箇所の補修 <input type="checkbox"/> 漏水個所の補修 <u><input type="checkbox"/>ため池の浚渫</u>	(ため池本体)
		(付帯施設) <input type="checkbox"/> 取水施設の補修 <input type="checkbox"/> 洪水吐の補修 <input type="checkbox"/> 安全施設の補修	(付帯施設) <input type="checkbox"/> ゲート、バルブの更新 <input type="checkbox"/> 安全施設の設置
	農地	<u><input type="checkbox"/>暗きよ排水の補修</u> <u><input type="checkbox"/>給水栓の補修</u>	<u><input type="checkbox"/>暗きよ排水の設置</u> <u><input type="checkbox"/>給水栓等の更新</u> <u><input type="checkbox"/>農用地への客土等</u>

2. 対象施設・対象活動の項目の説明

【水路（開水路、パイプライン）に関する対象活動】

（1）水路本体

ア 補修

□水路の破損部分の補修

- ・ひび割れや部分的な欠損、側壁の倒壊など、水路の一部区間が破損している場合、破損状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。

□水路の老朽化部分の補修

- ・目地の劣化やコンクリート表面の磨耗、ひび割れ、はく離など、水路の一部区間が老朽化している場合、老朽化の状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。

□水路側壁の嵩上げ

- ・水路敷きの不同沈下により溢水するといった通水機能に支障が生じている場合、水路側壁を嵩上げすることによる対策を行うこと。

□U字フリューム等既設水路の再布設

- ・水路敷きの不同沈下により溢水や漏水、あるいは、土砂の堆積など、通水機能に支障が生じている場合、U字フリューム等既設水路の再布設による対策を行うこと。

イ 更新等

□素堀り水路からコンクリート水路への更新

- ・水路法面の崩壊や土砂の堆積等による通水機能の喪失や、清掃や泥上げなどの日常管理が困難な場合、コンクリート製の水路に更新するなどの対策を行うこと。

□水路の更新（一路線全体）

- ・老朽化や不同沈下等による通水機能への支障が路線全体を通じて生じている場合、水路の路線全体の更新による対策を行うこと。

（2）付帯施設

ア 補修

□集水枠、分水枠の補修

- ・集水枠、分水枠の破損箇所や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。

□ゲート、ポンプ等の補修

- ・ゲート、ポンプ及びポンプ室等の破損や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。

□安全施設の補修

- ・水路内への侵入や転落を防止するフェンスなど安全施設の破損箇所や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。

□取水施設の補修

- ・頭首工の破損や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。

□沈砂池等の補修

- ・沈砂池等の法面侵食や破損、老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。

□水路法面の補修

- ・水路法面に侵食や土砂の崩壊などが生じている場合、当該箇所の状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。

イ 更新等

□ゲート、ポンプの更新

- ・老朽化等により機能に支障が生じているゲート、ポンプの更新等の対策を行うこと。

□安全施設の設置

- ・水路内への転落防止や危険区域内への立入り防止等のために、新たに安全施設を設置することによる対策を行うこと。

□水路蓋の設置

- ・水路等の蓋板等について、更新等の対策を行うこと。

【農道に関する対象活動】

(1) 農道本体

ア 補修

□農道路肩、農道法面の補修

- ・農道路肩、農道法面に侵食や土砂の崩壊などが生じている場合、当該箇所の状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。

□舗装の打換え（一部）

- ・老朽化等により農道の舗装路面の凹凸、輪だち、ひび割れ等がみられた場合、その一部を撤去するなどした後、新たに舗装するなどの対策を行うこと。

イ 更新等

□未舗装農道を舗装（砂利、コンクリート、アスファルト）

- ・未舗装農道において、農道の維持管理等に支障が生じている場合、新たに路面を舗装することによる対策を行うこと。

(2) 付帯施設

ア 補修

□農道側溝の補修

- ・ひび割れや部分的な欠損、側壁の倒壊といった破損や目地の劣化、コンクリート表面の磨耗、ひび割れ、はく離等といった老朽化が生じている場合、当該箇所の状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。

イ 更新等

□側溝蓋の設置

- ・農道において、側溝に蓋がないために車両通行時に脱輪したり、農業機械の移動や作業等に伴って側溝を傷付けるなどの恐れがある場合、当該箇所に新たな蓋を設置することにより対策を行うこと。

□土側溝をコンクリート側溝に更新

- ・土側溝において、側溝法面の崩壊や土砂の堆積等による通水機能の喪失や、清掃や泥上げなどの日常管理が困難な場合、コンクリート製の側溝に更新するなどの対策を行うこと。

□道路側溝等の設置

- ・道路側溝等の不備により農道の維持管理に支障が生じている場合、新たに道路側溝を設置することによる対策を行うこと。

【ため池に関する対象活動】

(1) ため池本体

ア 補修

□洗堀箇所の補修

- ・ため池において、堤体が洗掘されている場合、土嚢を積んで補修する等の対策を行うこと。

□漏水箇所の補修

- ・ため池において、老朽化等による堤体からの漏水等がみられた場合、遮水シートを設置する等の対策を行うこと。

□ため池の浚渫

- ・ため池において、土砂の堆積により機能低下が見られる場合、土砂上げを行うこと。

(2) 付帯施設

ア 補修

□取水施設の補修

- ・ため池の堅樋、底樋、斜樋等の取水施設の破損や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。

□洪水吐の補修

- ・ため池の洪水吐の破損や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。

□安全施設の補修

- ・転落防止や危険区域内への立入り防止等のために設置されている安全施設の破損や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。

イ 更新等

□ゲート、バルブの更新

- ・老朽化等により機能に支障が生じているため池のゲート、バルブ等の更新等の対策を行うこと。

□安全施設の設置

- ・ため池への転落防止や危険区域内への立入り防止等のために、新たに安全施設を設置することによる対策を行うこと。

【農地に関する対象活動】

ア 補修

□暗きよ排水の補修

- ・暗きよ排水の一部が破損している場合、破損状況に応じた補修等の対策を行うこと。

□給水栓の補修

- ・給水栓の一部が破損している場合、破損状況に応じた補修等の対策を行うこと。

イ 更新等

□暗きよ排水の設置

- ・生産性の確保による遊休農地発生の防止のために、暗きよ排水の設置を行うこと。

□給水栓等の更新

- ・老朽化等により機能に支障が生じている給水栓等の更新等の対策を行うこと。

□農用地への客土

- ・生産性の確保による遊休農地発生の防止のために、客土や混層耕、心土破碎等の対策を行うこと。